

# 第4期科学技術基本計画及び イノベーション環境創出の レビューに係る調査について (概要)

## 第4期科学技術基本計画中間レビューのための調査について

### 検討対象

- 科学技術イノベーション政策推進専門調査会においては、科学技術イノベーションに適した環境創出（システム改革や基礎研究及び人材育成の強化）、社会とともに創り進める政策の展開、国際活動の戦略的展開、知的財産戦略等、横断的に取り組む事項についてレビューを実施する。

※社会的課題として特に取り組むべき重要な課題として取り上げられた事項の達成に向けた推進策についてのレビューは「重要課題専門調査会」において実施する。

## 第4期科学技術基本計画中間レビューのための調査について

### 第4期科学技術基本計画中間レビューのための調査方針（案）

第4期科学技術基本計画中間レビューのための調査については、以下の中間レビューの基本的な方針を踏まえ、中間レビューのとりまとめのために必要とされる情報の収集・分析を行う。

#### ＜中間レビューの基本的な方針(案)＞

- 「第3期」から「第4期」への移行に係る成果の検証、「第4期」の成果(進捗)の検証を踏まえ、「第4期」において今後取り組むべき事項、「第5期」を策定する上での示唆を得る。
- 個別施策(基本計画の推進方策レベル)のPDCAは各府省が行い、総合科学技術会議(科学技術イノベーション政策推進専門調査会)は一段上位のレベルで俯瞰し評価する。
- エビデンスに基づいた評価を実施するべく、可能な限り評価指標を設定する。指標は入手可能性、継続性、国際的な比較可能性を勘案する。
- 達成すべき課題や目標とこれらに関連する手段を整理するとともに、包括的な分析を行い、可能な限り、基本計画の進捗を論理的・体系的に理解できるようにする。

#### (参考)第3期基本計画での反省点について

- 基本計画の記載内容(個別施策レベル)から指標候補を抽出したが、大量なデータの羅列であり、基本計画の進捗を論理的・体系的に理解し難いという問題があった。
- 基本計画に沿って推進した関係府省の主な取組や、分野別推進戦略に掲げた研究開発課題の成果については取りまとめたが、科学技術政策を推進するプロセス(制度、体制、運営)面の分析が不十分であった。

## 第4期科学技術基本計画中間レビューのための調査【概要】

◇ 第4期科学技術基本計画の中間レビューの取りまとめに当たって必要な情報収集・分析を行う。

### (1)第4期基本計画の進捗状況調査

- 基本計画の目的の達成のために実施されている関係府省等の施策の調査（施策の実施状況の整理）
- 施策の効果や基本計画の目的の達成状況を把握する上で必要と考えられる指標を整理し、指標に関するデータを収集・分析
- 施策及び指標情報を踏まえ、基本計画の進捗状況を整理・分析（基本計画の基本方針※の視点で包括的に実施）

### (2)第4期基本計画の推進の観点から特に重要と考えられるトピックに対する詳細調査

- 上記の基本計画の進捗の分析や、これまでの計画、戦略、提言等に現れる問題意識などを踏まえ、基本計画の推進の観点から特に重要と考えられる問題意識に関して「詳細調査」を実施（問題の所在や原因に関する仮説を立て検証）
- 基本計画レビューの内容をより効果的なものとするエビデンスデータを得る

### (3)主要国における科学技術イノベーション政策の動向等の把握・分析

- 世界各国の科学技術イノベーションに関する政策の動向や最新のトレンドも踏まえた先行取組事例について調査
- 我が国の世界の中での位置づけを確認し、我が国の国際的な強み、弱みを把握

### (4)我が国および国際社会の将来の社会像に関する知見の把握・分析

- 科学技術イノベーション政策に関わる将来の社会像の予測に関する知見を整備・分析（日本の状況を世界と比較しつつ整理する他、予測手法・予測根拠やプロセスを整理）
- 第5期基本計画の策定の検討に向けて活用しうる予測調査手法に関して検討

※今後の科学技術政策の基本方針（第4期科学技術基本計画第Ⅰ章より）

「科学技術イノベーション政策」の一体的展開、「人材とそれを支える組織の役割」の一層の重視、「社会とともに創り進める政策」の実現

## イノベーション環境創出に係るレビューのための調査【概要】

◇ 本調査は、イノベーション環境創出に係る重点的取組の進捗とその成果を把握し、今後の政策誘導に活かすといったレビューを行うために必要な検討を行うものである。

### 現状

- 重点施策として、予算及び制度の観点から35施策を取りまとめた。
- H27以降、当該施策を含め、我が国の科学技術イノベーション環境創出についてのレビューを行う必要がある。

### 課題

- レビューを行う前提として、我が国として「何を、どこまで」達成すればよいかという目標値（評価項目 & 指標）が欠落している。
- 同時に、我が国として当該目標値に向かって、いかなる工程で臨むべきかを明らかにする必要がある、政策誘導のためのエビデンスが必要である。

### 調査の方向性

H27以降のレビューと  
政策誘導に備える

#### ☑ 評価項目 & 指標のモデル化

重点的取組ごとに、CSTPがその進捗と成果を測ることのできる評価項目 & 指標のモデル化を行う。

#### ☑ 目標値試案の設定

重点的取組ごとに、我が国が目指すべき目標値試案の設定を行う。

#### ☑ 工程表原案の策定

重点的取組ごとに、目標値に至るまでの工程表原案を策定する。

#### ☑ 政策誘導に資する各省施策の濃淡と空白の分析

重点的取組ごとに、工程を満たす各省施策の濃淡と空白を明らかにし、政策誘導に活かす。